



PostScript 3 編

-
- ① はじめに
 - ② Macintoshで使う
 - ③ Windowsで使う
 - ④ 付録
-

このプリンター、ドライバーおよびユーティリティは、株式会社リコーより提供を受けております。

なお、本文中に記載されています商品名などは、以下のように読み替えてください。

- リコー => インフォプリント
- IPSiO => InfoPrint

付属の CD-ROM には、HTML 形式の使用説明書は収録されていません。また、冊子のハードウェアガイドは同梱されていません。付属の CD-ROM に収録されている PDF 形式の使用説明書を参照してください。

InfoPrint SP 8200 では、以下のオプションは設定されていません。

- VM カード / エミュレーションカード / マルチエミュレーションカード / PDF ダイレクトプリントカード / BMLinkS モジュール
- 3000 枚一穴対応フィニッシャー / 紙揃えユニット / 専用テーブル / 小サイズ用紙対応カセット
- 拡張無線 LAN ボード / IC カード認証 / インターフェースケーブル
- 暗号化通信の機能に、保存用 SD カードは不要です。

InfoPrint SP 8200 では、Macintosh 用 PostScript プリンタードライバーおよびユーティリティは付属しておりません。また、イラスト画面などで、表示が異なる場合があります。

Ricoh、Ricoh ロゴは、株式会社リコーの日本およびその他の国における登録商標。当社は同社から使用許諾を受けて使用しています。InfoPrint Solutions Company は、InfoPrint Solutions Company, LLC の米国およびその他の国における商標。InfoPrint は、株式会社リコーの米国およびその他の国における登録商標。当社は同社から使用許諾を受けて使用しています。

目次

1. はじめに

PostScript 3 とは	5
Macintosh で印刷するための準備	6
Windows で印刷するための準備	7
PostScript 3 使用上のご注意	8
ユーザー認証	9

2. Macintosh で使う

セットアップ用 CD-ROM	11
CD-ROM のフォルダ構成	11
動作環境	13
MacOS へのインストール	14
PostScript ドライバーのインストール	14
PPD ファイルと Plug-in のインストール	15
PPD ファイルを選択する	16
オプションの構成を確認する	18
デスクトップ・プリンタの作成 -USB 接続	19
Adobe Type Manager のインストール	21
スクリーンフォントをインストールする	24
Mac OS X へのインストール	25
PPD ファイルのインストール	25
PPD ファイルを選択する	27
用紙の設定と印刷の設定	30
用紙の設定を表示する	30
印刷の設定を表示する	31
印刷の設定項目 (Mac OS の場合)	32
印刷の設定項目 (Mac OS X の場合)	34
リコー PS3 設定ユーティリティ	37
リコー PS3 設定ユーティリティのインストール	37
リコー PS3 設定ユーティリティを起動する (Mac OS の場合)	37
リコー PS3 設定ユーティリティを起動する (Mac OS X の場合)	38
リコー PS3 設定ユーティリティの機能	39
和文フォントをダウンロードする	40
欧文フォントをダウンロードする	42
使用可能フォントを表示する	44
使用可能フォントを削除する	45
ハードディスクを初期化する	46
用紙を設定する	47
フォントカタログ印刷	48
フォント見本印刷	48
プリンター名を変更する (Mac OS の場合)	49
プリンター名を変更する (Mac OS X の場合)	50
プリンターを再起動する	50
PostScript ファイルをダウンロードする	51
ゾーンを変更する (Mac OS の場合)	52
ゾーンを変更する (Mac OS X の場合)	53
プリンターのステータスを表示する	53
MacOS 標準フォント置換	54

対話コンソールを使う	55
PostScript ファイルの作成と編集	56
いろいろな印刷	58
画質を調整して印刷する (Mac OS の場合)	58
画質を調整して印刷する (Mac OS X の場合)	58
特殊な用紙に印刷する (Mac OS の場合)	59
特殊な用紙に印刷する (Mac OS X の場合)	60
不定型サイズの用紙に印刷する (Mac OS の場合)	61
不定型サイズの用紙に印刷する (Mac OS X の場合)	63
ソートする (Mac OS の場合)	65
ソートする (Mac OS X の場合)	65
用紙の両面に印刷する (Mac OS の場合)	66
用紙の両面に印刷する (Mac OS X の場合)	67
ステーブルする (Mac OS の場合)	68
ステーブルする (Mac OS X の場合)	68
パンチする (Mac OS の場合)	69
パンチする (Mac OS X の場合)	70
試し印刷 (Mac OS の場合)	70
試し印刷 (Mac OS X の場合)	71
機密印刷 (Mac OS の場合)	72
機密印刷 (Mac OS X の場合)	73
保留印刷 (Mac OS の場合)	74
保留印刷 (Mac OS X の場合)	75
プリンターに保存 (Mac OS の場合)	76
プリンターに保存 (Mac OS X の場合)	77
保存して印刷 (Mac OS の場合)	78
保存して印刷 (Mac OS X の場合)	79

3. Windows で使う

セットアップ用 CD-ROM	81
オートランプログラムについて	81
CD-ROM のフォルダ構成	83
動作環境	86
Windows 2000 で使う	88
プリンタードライバをインストールする	88
オプションセットアップ	92
プリンタードライバの設定画面を表示する	93
[プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	93
[プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する	94
アプリケーションからプロパティを表示する	94
プロパティの設定項目	94
[デバイスの設定] タブ	95
印刷設定の設定項目	96
[用紙 / 印刷品質] タブ	97
[仕上げ] タブ	98
[効果] タブ	99
[蓄積 / 履歴] タブ	99
[詳細設定] タブ	100
いろいろな印刷	101
画質を調整して印刷する	101
特殊な用紙に印刷する	101
不定型サイズの用紙に印刷する	102
ソートする	103
用紙の両面に印刷する	104

ステーブルする	105
パンチする	106
試し印刷	106
機密印刷	107
保留印刷	108
保存印刷	109
プリンターに保存して印刷する	110
Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 で使う	112
プリンタードライバーをインストールする	112
オプションセットアップ	116
プリンタードライバーの設定画面を表示する	117
[プリンタと FAX] ウィンドウからプロパティを表示する	118
[プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定を表示する	118
アプリケーションからプロパティを表示する	119
プロパティの設定項目	119
[デバイスの設定] タブ	120
印刷設定の設定項目	122
[用紙 / 印刷品質] タブ	122
[仕上げ] タブ	123
[効果] タブ	124
[蓄積 / 履歴] タブ	124
[詳細設定] タブ	125
いろいろな印刷	126
画質を調整して印刷する	126
特殊な用紙に印刷する	127
不定型サイズの用紙に印刷する	128
ソートする	129
用紙の両面に印刷する	130
ステーブルする	130
パンチする	131
試し印刷	132
機密印刷	133
保留印刷	134
保存印刷	135
プリンターに保存して印刷する	136
Windows Vista で使う	138
プリンタードライバーをインストールする	138
オプションセットアップ	141
プリンタードライバーの設定画面を表示する	142
[プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	143
[プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する	143
アプリケーションからプロパティを表示する	144
プロパティの設定項目	144
[デバイスの設定] タブ	145
印刷設定の設定項目	146
[用紙 / 印刷品質] タブ	147
[仕上げ] タブ	148
[効果] タブ	149
[蓄積 / 履歴] タブ	149
[詳細設定] タブ	150
いろいろな印刷	151
画質を調整して印刷する	151
特殊な用紙に印刷する	152
不定型サイズの用紙に印刷する	152
ソートする	154
用紙の両面に印刷する	154

ステーブルする	155
パンチする	156
試し印刷	157
機密印刷	158
保留印刷	159
保存印刷	160
プリンターに保存して印刷する	161

4. 付録

機種情報	163
IPSiO SP 8200	163
プリンタードライバー	163
プリンターフォント	166
インストールする PPD ファイルと Plug-in	166
PS 設定メニューについて	166
PageMaker をご使用の方へ	167
PPD ファイルのインストール	167
PPD ファイルの選択	168
PageMaker 用 PPD ファイル	169
こんなときには	169
PS 情報リストを印刷する	170
PS3 情報リストの見方	172
索引	174

1. はじめに

PostScript 3 や印刷するための準備について説明しています。

1

PostScript 3 とは

PostScript 3 は、アドビシステムズ社が開発したページ記述言語です。

PostScript 3 を使用すると、プリンターはパソコンから送られるこのページ記述言語による印刷指示を受け取って解釈し、適切に印刷できるようになります。

PostScript 3 は Windows および Macintosh のどちらの環境でも使用できます。

Macintosh で印刷するための準備

Macintosh で印刷するために必要な手順について説明します。

1

1 プリンターとパソコンの接続

プリンターとパソコンが正しく接続されていることを確認します。

2 拡張エミュレーションの取り付け

エミュレーションの SD カードをプリンターに取り付けます。

3 パソコン側の準備-必要なプリンタードライバおよびファイルをインストールする

本機に同梱の CD-ROM から、必要なプリンタードライバおよびファイルをインストールします。

また、プリンタードライバでオプションの設定を行います。

4 パソコン側の準備-用紙と印刷の設定をする

用紙サイズや印刷枚数などを設定します。また、プリンタの固有機能など印刷に関する設定を行います。

5 パソコン側の準備-リコー PS3 設定ユーティリティを使う

必要に応じて、リコーPS3 設定ユーティリティをインストールします。リコーPS3 設定ユーティリティをインストールすると、新しいフォントをダウンロードする機能や、プリンターを設定・管理する機能が追加されます。

↓ 補足

- 接続については、本機に同梱のプリンター機能を記載している使用説明書を参照してください。
- エミュレーションの SD カードの取り付けについては、プリンター機は、本機に同梱のプリンター機能を記載している使用説明書を参照してください。複合機は、サービス実施店にご相談ください。
- Mac OS から USB 接続で印刷する場合、または、Mac OS X から Bonjour (Rendezvous)、IP プリントを使用して印刷する場合、エミュレーションが自動で PostScript 3 には切り替わりません。本体側でエミュレーション検知を [する] に設定して印刷するか、あらかじめエミュレーションを PS3 に切り替えて印刷してください。エミュレーション検知について詳しくは、本機に同梱のプリンター初期設定を記載している使用説明書を参照してください。
- Macintosh の機能と操作方法について十分理解されていることを前提に説明をしています。Macintosh の機能および操作方法の詳細については、Macintosh の説明書を参照してください。

Windows で印刷するための準備

Windows で印刷するために必要な手順について説明します。

1 プリンターとパソコンの接続

プリンターとパソコンが正しく接続されていることを確認します。

2 拡張エミュレーションの取り付け

エミュレーションの SD カードをプリンターに取り付けます。

3 パソコン側の準備-プリンタードライバをインストールする

本機に同梱の CD-ROM から、プリンタードライバをインストールします。

4 パソコン側の準備-追加オプションの設定をする

追加したオプション機器の設定と給紙トレイの用紙サイズ、用紙方向を設定します。

5 パソコン側の準備-印刷の設定画面を表示し、印刷の設定をする

プリンタードライバの設定画面を表示し、印刷の詳細を設定します。

補足

- 接続については、本機に同梱のプリンター機能を記載している使用説明書を参照してください。
- エミュレーションの SD カードの取り付けについては、プリンター機は、本機に同梱のプリンター機能を記載している使用説明書を参照してください。複合機は、サービス実施店にご相談ください。
- Windows の機能と操作方法について十分理解されていることを前提に説明をしています。Windows の機能および操作方法の詳細については、Windows の説明書を参照してください。

PostScript 3 使用上のご注意

PostScript 3 使用上の注意事項を説明しています。

1

◆ メモリーについて

- 容量の大きなデータや複雑なデータを印刷した場合、プリンターのメモリー容量が不足して、プリンターの動作が不安定になったり印刷できなくなることがあります。このような場合には、プリンターのメモリー増設をお勧めします。

◆ フォントについて

- Type1 フォントは Adobe Type1 font format(1.1) に準拠しています。ただし、アウトラインが自己干渉するようにデザインされた文字は、正しく印字されないことがあります。
- ヒント情報を持たない文字をアプリケーションソフトからダウンロードして利用する場合、拡大、縮小等によっては文字が途切れて印刷される場合があります。

◆ その他

- アプリケーションによっては、PostScript ドライバーを使用するとプレビューどおりに出力できないものがあります。
- 奇数ページで終わる印刷データで両面印刷を指定した場合、PostScript ドライバーとアプリケーションとの組み合わせによっては、自動的に白紙ページが追加される場合があります。自動的に追加される白紙ページは、モノクロ 1 ページとしてカウントされます。
- 細線を印刷する場合、線が思い通りに描画されないことがあります。また、線の太さや線の色合いが同じ場合でも、ばらつきが生じることがあります。
- 不定形サイズで「297×418.4 mm」を超えるサイズを指定して印刷すると A3 サイズとしてカウントされます。課金オプションなどを使用している場合にはご注意ください。

↓ 補足

- お使いの機種によっては、メモリーの増設ができない場合があります。メモリーの増設については、プリンター機は、本機に同梱のプリンター機能を記載している使用説明書を参照してください。複合機は、サービス実施店にご相談ください。

ユーザー認証

1

機器のセキュリティ強化を目的として、機器に搭載された認証機能を利用して運用する場合、機器を利用するユーザーは、ユーザー認証によるログインとログアウトの操作が必要になります。

ユーザー認証は、ログインユーザー名とログインパスワード、またはユーザーコードによって、機器を使用するユーザーを確認する仕組みです。ログインユーザー名とログインパスワード、または、ユーザーコードは、機器のアドレス帳で個人情報とともに管理されています。

◆ ユーザー認証の種類

個人情報の取得の仕組みによって、ユーザーコード認証、ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証の 5 種類の認証方法があります。

ログインの操作時、ユーザーコード認証では、ユーザーコードの入力が必要になります。ユーザーコード認証は、複数のユーザーが同じユーザーコードを使用して機器を使用することができます。

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証では、ログインユーザー名とログインパスワードの入力が必要になります。

ログインユーザー名とログインパスワードは、ユーザーごとに異なります。

◆ ログインの操作

ユーザー認証が設定されている場合、認証が必要なタイミングで操作部の画面に認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワード、またはユーザーコードを入力してください。

◆ ログアウトの操作

他のユーザーや第三者の機器の利用を防止するため、機器の操作終了後は、必ずログアウトしてください。

◆ プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーを使用して印刷する場合は、プリンタードライバー側でもログインユーザー名、ログインパスワード、またはユーザーコードを入力する必要があります。

↓ 補足

- ・ログインユーザー名、ログインパスワード、またはユーザーコードについては、管理者にご確認ください。

